

被告夫妻平然として 不敬事件の訊問と答ふ

坂本は精神異常者か
天理教事件公判

天理教不敬事件に關係して起訴された平町四丁目天理教布教師瀧川幸一郎(三〇)同内縁の妻坂本フク(二九)の兩名は事件發生當時平刑務所に收容され其後保釋出獄を許されてゐたが

不敬事件の第一回

公判は二十六日午前九時から福島地方裁判所平支部に於て千葉裁判長係武田検事立會被告瀧川、坂本兩名の外、辯護士出廷の上開廷されたが事件が事件丈傍聴者も多數押かけたが傍聴を禁止して開廷まづ訊問を行つたが同人等は例の大西愛次郎の一味となり

天理研究の下の

に分配に當り印刷物を配布し或は信者に宣傳してゐたことが事件發覺と同時に平署の手に檢査され證據物件として天理研究の印刷物を押收された上起訴になつたもので同人等は更に事實を否認せず平然なる態度で公判廷に出でたが坂本フクは埼玉縣の女子師範學校を卒業後小學校に教員をしてゐる中に天理教の信者となり例の「お筆先」を信じ布教してゐる中瀧川と知り合になり同人を信者に導き同棲した上共に布

復舊費要求 八千七百九十九圓

平土木監督所の
本縣の明年度豫算中へ要求して來た平土木監督所からの炎害土木復舊費は八千七百九十九圓であるがその個所を見れば道路の部では縣道石川湯本線中石住村地内の土止め工事、同郡上遠野植田停車場線中上遠野村地内二ヶ所の土止め工事、江名平線中高久村地内土止め工事、四倉小野新町線中平窪村地内の土止め工事、との合計五ヶ所で二千六百三圓海岸の部では双葉郡久之濱港波止堰と同潮止護岸の根圍との二ヶ所で六千六百十六圓である

或は不可能 鮫川工事復活

その實現
鮫川用水工事の復活につき小名濱町外七ヶ町村の關係民が猛烈な運動を續けて居るので縣當局は事情の許す限り明年度に決行した意向を持つて居るといふが加

天候は再び恢復し 氣温も上る豫想

小名濱測候所の觀測

今年もそろそろ時雨月になるので露の芋の葉、風の穂すつき、世は一雨毎に秋の俳天地に入るに不思議はないが今までの殘暑が可なり甚だしかつた反映として二十五日夜の雨から急に氣温が低下した場合は單衣では凌ぎ兼ねるが今年もこの度の雨を轉機としてこまなり冷涼の秋になつてしまふかどうかに就て小名濱測

候所の觀測をみると
從來八丈島附近にあつた颯風が二十五日小名濱沖を通過して北海道へ進行した影響を受け支那北部にあつた高氣壓が延びた爲め今回の氣温低下を見ただけで二十六日の最低温度は六十二度二分であるからさして著しき低下と云ふわけではないが之れつたので際立つて感ぜらるゝに外ならない天候は二十七日位で再び恢復し氣温も相當に上るものと豫想される

勢知事の眞意は工事復活の先決問題になつて居る鮫川水電會社と關係地地方民が組織して居る水利組合の問題が解決しなければ斷行しない方針であるとの確證を得

御大典を種に 入込む不正商人の群れ

平署嚴重取締り

御大典記念を口實にして平町地方に不正商人等が入り込んで來たので平署では警戒中の處、二十三日から平町に滞在して御大典記念畫報を

販賣し

て居た東京市神田區美土代町國際タイム社社外役員田中某(三〇)外二名は二十五日午後平町紺屋町藤沼醫院に至り押賣りをなさんと暴言を吐いたので平署に檢束され取調を受けたが同人等の賣つて居るものは御大典記念畫報でなく從來の歴史なので嚴重説諭を受けたが、これ等は御大典を好機に不正な

利益を得んとする

た某縣會議員は加勢知事に向つて鮫川の水利權許可取消しを要求し斷然拒絶され暫く工事復活の實現は不可能であるとの觀測が有力に傳へられて居る



皮膚の手入れ

冬になりますと皮膚があれ勝になりますから今から丁寧にあれなげようが肝要であります、最近各階級に歓迎されてゐる方法を紹介

園藝共進會

石城郡農會にては十一月二十三日より二十六日まで四日間農事試験場石城分場内に御大典奉祝同場創立五周年記念園藝品共進會を盛

- △一等 一八五、一九〇
- △二等 一四五、一九二、二〇八
- △三等 一四六、一六六、一七三、一八〇、一八七、一九四、二〇一、二〇八、二一五、二二二、二二九、二三六、二四三
- △四等 五〇九、五七〇、六〇九、六四八、六八七、七二六、七六五、八〇四、八四三、八八二、九二一、九六〇、九九九、一〇三八、一〇七七、一一一六、一一五五、一二〇四、一二四三、一二八二、一三二一、一三六〇、一三九九、一四〇〇
- △五等 一六、四九、六八、八七、一〇六、一二五、一四四、一六三、一八二、二〇一、二二〇、二三九、二五八、二七七、二九六、三一五、三三四、三五三、三七二、三九一、四一〇、四二九、四四八、四六七、四八六、五〇五、五二四、五四三、五六二、五八二、六〇一、六二〇、六三九、六五八、六七七、六九六、七一五、七三四、七五三、七七二、七九一、八一〇、八二九、八四八、八六七、八八六、九〇五、九二四、九四三、九六二、九八一、一〇〇〇

馬匹貧血病

石城郡で 豫防講習會

石城郡産馬畜産組合では隣接せる田村郡方面の産馬に傳染性の貧血病が發生しつつあるのを是が豫防のため郡境三坂村一圓に亘り左記日割を以て貧血病豫防検査に産馬性講演會を行ふことになつたが更に郡内一般に亘つても検査を行ふ豫定である

- ▲日割 ▲十月二日 三坂村
- ▲三日 三坂村
- ▲四日 三坂村
- ▲五日 三坂村

表彰者報告

石城郡で四名
中等學校並に小學校教員で勤続三十年以上の教育功勞者を今秋舉行される御大典に際して表彰される本縣では文部省の命を受けてかねて三十年以上の勤續者を調査中だつたが此程ましまつて二十六日

文部省

- 年數 學校 氏名
- 三二 磐崎 土田 克巳
- 三八 川部 須田 國松
- 三〇 入遠野 渡邊 林之助
- 三一 勿來 杉浦 啓嚴